



# news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号  
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2016年7月29日

報道関係 各位

～清水町、広尾町、並びに北海道開発局帯広開発建設部との協働で地域振興を～

## 自動販売機を活用した道路交通情報・地域情報の 発信等の協働事業を開始します！

国道の防災ステーションにおける自治体・北海道開発局との三者協働事業

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木 康行）は、国道の防災ステーションにおける新たな地域振興の協働事業として、国道38号十勝清水防災ステーション（清水町）、及び国道236号豊似防災ステーション（広尾町）において、地域住民及び道路利用者の安全・安心、利便性の確保と地域振興活動の充実に向けた協働事業の実施に関する協定を締結し、両町並びに、北海道開発局帯広開発建設部との三者による協働事業を2016年8月4日よりスタートいたします。

●具体的な協働事業の内容は以下の通りです。

1. 国道38号十勝清水防災ステーション、並びに国道236号豊似防災ステーションに当社の電光掲示板付き災害対応型自動販売機（以下、「電光掲示板付き自販機」）を設置し、清水町、広尾町から地域情報、並びに北海道開発局帯広開発建設部から提供される道路交通情報の発信を行う。
2. 清水町、広尾町からの遠隔操作により、災害等の非常時に電光掲示板付き自販機内在庫の商品の無償提供を行う。

防災ステーションは、地域の災害発生時に必要な資機材を備蓄・供給し、災害発生時の対策・支援活動の基地として北海道開発局により建設されています。電光掲示板付き自販機での様々な情報発信、災害時の飲料無料提供は、道路利用者への安全・安心や利便性の増進に加え、地域防災意識の高揚、緊急時の防災拠点機能などが期待されています。

本協定の締結式を下記の通り実施しますのでお知らせいたします。

### 【国道38号十勝清水防災ステーション】

日時：2016年8月4日（木） 午前10時00分

場所：清水町役場 2階庁議室

出席者：清水町 町長

高簿 渡 様

国土交通省北海道開発局帯広開発建設部 部長

河畑 俊明 様

当社 営業統括本部第二本部 地域連携担当部長

佐藤 敏春

### 【国道236号豊似防災ステーション】

日時：2016年8月4日（木） 午後2時30分

場所：豊似防災ステーション（雨天時は広尾町役場 2階庁議室 午後2時45分）

出席者：広尾町 副町長

田中 靖章 様

国土交通省北海道開発局帯広開発建設部 部長

河畑 俊明 様

当社 営業統括本部第二本部 地域連携担当部長

佐藤 敏春

### 【参考 1】清水町と当社との協働事業実施経緯

- ・2006年12月に北海道と当社の間で締結した「災害時における飲料の供給等防災に関する協力協定」に基づき、清水町との間で「災害対応型自動販売機による協働事業に関する協定」を2010年9月9日に締結しました。
- ・清水町から災害対応型自動販売機（電光掲示板搭載）を通じて、平常時には防災情報や地域情報を配信して、地域住民の防災意識の高揚をはかり、災害発生時には災害情報の配信や、電光掲示板付き自販機内在庫の商品の無償提供、並びに飲料物資の供給等を行います。

### 【参考 2】広尾町と当社との協働事業実施経緯

- ・2006年12月に北海道と当社の間で締結した「災害時における飲料の供給等防災に関する協力協定」に基づき、広尾町との間で「災害対応型自動販売機による協働事業に関する協定」を2008年12月19日に締結しました。
- ・広尾町から災害対応型自動販売機（電光掲示板搭載）を通じて、平常時には防災情報や地域情報を配信して、地域住民の防災意識の高揚をはかり、災害発生時には災害情報の配信や、電光掲示板付き自販機内在庫の商品の無償提供、並びに飲料物資の供給等を行います。
- ・2014年12月にサンタクロースの故郷ノルウェーが認めた、国外初、日本で唯一のサンタランドである広尾町との間で、それぞれが有する資源を有効に活用し、産官相互の連携と協力を基盤に町民と一体となって共にまちづくりに取り組む、「サンタクロースの夢を育むまちづくりパートナー協定」を締結しました。

### 【参考 3】国土交通省北海道開発局と当社との協働事業実施経緯

- ・2006年、北海道開発局と当社は北海道の活力ある地域づくりを目指して、「協働事業に関する包括協定」を締結しました。この協定に基づき、北海道開発局、市町村、当社での三者連携による道路利用者への情報提供手段として、電光掲示板付き自販機を活用した情報配信サービス「おしらせ道ねっと（※1）」を展開してきました。この自動販売機は電光掲示板を通じて文字情報を表示することが可能で、平常時は自治体（市町村）からの地域情報を、緊急時には災害情報や道路情報を表示することができます。また、災害時には自治体の判断で遠隔操作によって無料で清涼飲料水を提供すること（フリーバンド）が可能です。
- ・2012年、北海道シーニックバイウェイと、競争力ある魅力的な北海道の実現に向けた包括連携協定を締結しました。
- ・2014年、道路保全に関する協働事業として、道路異常の情報共有及び道路緊急ダイヤル（※2）の啓発活動に向けて、道内全ての開発建設部と『道路異常の情報共有及び道路緊急ダイヤルの啓発活動』における協働事業の実施に関する細目協定」を締結しました（2015年8月末現在で全ての開発建設部と締結）。当社車両（約1,000台）を対象に北海道開発局が制作した道路緊急ダイヤルの啓発ステッカーを掲示し、当社社員が迅速に道路異常の通報を行うとともに、地域の皆様からも通報が多く寄せられることで、道路保全に貢献することを目的としています。また、当社の道内各事業所には道路通行規制等の情報提供を頂き、円滑な道路交通に活用しています。
- ・2015年、開源、及び猿払におけるパーキングシェルターにおける、地域住民及び道路利用者の安全・安心、利便性の確保並びに地域振興活動の充実に向けた自治体との3者協働事業の実施に関する協定を締結し、協働事業をスタートしています。
- ・2016年、北海道を訪れ、周遊する外国人観光客へ道路情報をわかりやすく発信するため、道の駅等に設置されている電光掲示板機能付き自動販売機「おしらせ道ねっと」（123箇所）を活用して、英語による道路情報の発信をスタートいたします。（2016年8月開始予定）

（※1）当社の電光掲示板付き災害対応型自動販売機にて、地域情報や災害情報を配信するサービスで、道の駅を中心に、2016年7月末時点で123台の自動販売機で展開されています。

（※2）道路緊急ダイヤルは、道路利用者が幹線道路の異常等を発見した場合に、直接道路管理者に緊急通報できるようにするとともに、それを受けた道路管理者は迅速に道路の異常への対応を図ることによって、安全を確保します。電話番号は「#9910」で、通話料は無料です。（出典：北海道開発局ホームページ [http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z\\_doro/9910/](http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_doro/9910/)）



道路緊急ダイヤルの啓発ステッカー



「おしらせ道ねっと」自動販売機



「おしらせ道ねっと」点灯式の様子

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、責任ある企業市民として、北海道の魅力をさらに高める活動を、継続的に実行してまいります。これからも、次世代を担う子どもたちに、将来の地球の姿を考える場を提供することや、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みを、地元企業として、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR推進部 担当：竹内

TEL 011-888-2135